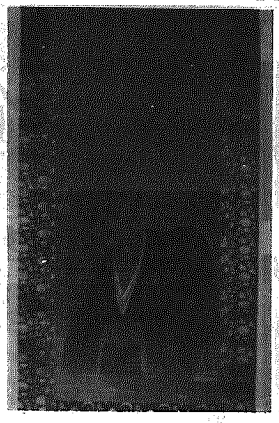
村指定文化財第四号

宗賢寺（横越下）保管の頂像画（禅僧の消像画）に決定

十九幅で約二五〇年前のもの



宗賢寺の開山　笑山全悦

二月九日付で、村文化財指定第四号に宗賢寺（大字横越下）に保存されている頂像画（禅像の肖像画）が決定になりましたので、おしらせします。

頂像画は十九幅あり、絹本かはすべて讃（その人を讃える言葉）が書いてあります。

このうち、とくに開山影像の讃は、默子素渕の筆で、默子和尚は江戸時代における曹洞宗の高僧であり、又、画は藤原方篤（本名、五十嵐俊明）筆であります。

次に大きさですが、絵は縦九十七㌢、横三十八㌢であり表具されているものの大きさは縦百八十五㌢、横五十四㌢であり、十九幅とも大同小異です。

次に、この頂像画と、宗賢寺の由来について記してみます。

宗賢寺の開創は、文明十三年（一四八一年）三月十八日と伝えられ、今からおよそ四九七年前です。はじめ真言宗であったが、後の慶長年間に曹洞宗となり、開山は、笑山全悦（北蒲原郡安田町草本、観音十一世）で、禅師は、寛永年間（一六四一年）二月二十五日に遷化（高僧の死去）されています。

ところで、開山影像の讃によれば、元文四年（一七四〇年）三月二十五日、宗賢寺七世、石峰国禅和尚が開山禅師の一百年の恩忌を催したその時、默子素渕が、法要の道師が唱えた法語を讃にしたものであります。

尚、開山の頂像画は、禅師の存命中に画かれたものか、遷化後に画かれたものか、あるいは元文四年三月二十五日に行なわれた大恩忌後を記念して新涤されたものか判明しません。

次に、この頂像画が地方の寺で、これだけ本数が揃っているところは、ほとんどないといわれています。又開山像の画かれた年代ははっきりしませんが、讃の記述により、少なくとも元文四年（今から二四七年前）より下らない、と言われています。さらに開山像の讃は、江戸時代の高僧の筆になり、又画は五十嵐俊明という当時の一流の画家の筆で画かれたものであり、その古さとともに、特に価値が高いと思われます。

村議会を傍聴

小杉婦人学級

米の生産調整に質問が集中

道路問題

年間学習活動の最後の学習日三月九日は、横越村議会の傍聴である。身近なところにありながら、なかなか機会がないと云うことではとんどの学級生は始めて傍聴と云うことで緊張ぎみだった。

議会も今年度最後の議会であり、四年に一回の議員の改選を間近にひかえてか空席もなかった。

村長の五十四年度予算に対する施政方針演説があり、それに対する六人の議員の一般質問が行われた。その間学級生はしんけんそのもの、メモを取っている人もかなりみうけられた。村政全般にわたって、特に米の生産調整、道路問題が多かったが、それにしても二十二人の議員のうち六人の質問者は少ない感じがした。順番制になってるのだろうか。それとも質問のない議員は、特に今の村政に問題はないと考えているのだろうか？。

私達学級生が特に関心をもっていた社会教育関係予算が実質的には減少しているにもかゝわらず、六人質問者の中にもそれを取上げてくれた人はなかった。婦人学級、家庭教育学級。関係予算もダウンしたときいた。どうなっているのだろうか。傍聴者にも、質問が許されるものであれば……とセツナイ感じがした。

学校教育は大切である。しかしそれと同じように、保育園から老人クラブまでの広範囲にわたる教育。つまり社会教育、社会体育も大切であることをもっと一生懸命考いてもらいたい。そして議会の場でもっと取上げて行政に反映させてもらいたい。こんなことを皆んなで話しあいながらその日の議会傍聴を終った。

小杉婦人学級は、このあと三月の末に閉級式のあと反省会、来年度の学級運営について話しあいをした。

（文責　今井）

昭和五十四年度 公民館役職員決る

館長 山崎・副館長 角田氏再任

山崎賢隆氏

公民館関係役職員（五十四年度から二ヵ年）が、左記のように決定しました。

◎公民館長　山崎賢隆　小杉
◎副館長　角田夏夫　沢海
（館長、副館長は再任）

◎公民館運営審議委員
市村　正（横越、再任）
佐藤　克己（横越、新任）
佐藤　輝男（沢海、再任）
窪田　忠衛（沢海、再任）
曽我　広見（体育協会々長、再任）
坪谷　フク（木津、再任）
小林一磨（二本木、再任）
佐藤　広一（小杉、新任）
田村　治（藤山、新任）
佐久間　順（婦人会長、再任）
渡辺　一（文化団体協議会長、再任）
加藤　文衛（横中校長、再任）
林　総一（連合青年団、新任）

右のほか、村会議員代表は後日決定次第この委員に加わっていただきます。

◎分館長
横越分館長　高橋良美　再任
沢海　〃　高橋悦郎　〃
木津　〃　阿達信二　〃
小杉　〃　阿部兵一　新任

連合青年団長に中野君決る

村連合青年団では三月二十五日総会を開き、昭和五十四年度役員を選出しました。

団長　中野芳夫（横越）
副団長　林　総一（横越下）
〃　阿部崗子（小杉）
会計　中村　天（〃）

団員の減少が深刻な問題となっているなか、川根谷内青年会の再建の動きもあり、明るいきざしをみせている。

「青年団の建直しに全力を尽したい。」と新期役員は、はりきっています。

婦人会長に佐久間さん

村連合婦人会では、去る二月十八日総会を開き、昭和五十四年度役員を選出した。

会長　佐久間　順　横越
副会長　坂井トミ　二本木
〃　長谷川キヨイ　小杉
会計　武藤マツミ　横越
事務局　佐藤　スイ　〃
〃　仁多見弥生　沢海

第七回 村民囲碁将棋大会開く

横越村名人に再び佐藤氏

小学生は宮嶋君

佐藤氏

三月四日、横越村公民館において、「第七回村民囲碁将棋大会」を開催した。

参加者は一般、小学生とも各二〇名余であった。（中学生はテストのため不参加）

当日は、石坂五段（石坂将棋センター代表）を審判員と指導をお願いした。

囲碁、将棋とも総あたり戦参加者は試合数が多く大変、それでも最後まで熱心に対戦した。

成績は次のとおりです。

○将棋　一般の部
一位　佐藤　朝雄　横越
佐藤さんは昨年につづいての優勝です。
二位　伝　富男　木津
三位　永木貴一郎　木津

○将棋　小学生の部
一位　宮嶋　忍　小杉
二位　古沢　秀雄　木津
三位　桜井　満　横越

○囲碁の部
一位　井上　作次　横越、川
二位　武藤　隆義　〃
三位　佐藤　清　横越

子どもサロン

横中3年　建部まゆみ

＜評＞

部分―「精」が、やゝ寸足らずになった。「神」の示が、筆づかいがはっきりしなかった。縦画に一工夫ほしかった。

総評―よく練習し、一生懸命書いているようすがわかり好感の持てる作品である。欲を言えば、逆に気持ちのゆとりがあって書いた方が線質に味わいが出たのではないかと思う。

（横中教諭　青木英明）

村職員募集（一般事務）

村では一般事務職員に欠員が生じたため、次により職員募集をしますのでお知らせします。

記

一、職種及び募集人員
一般事務　二名
二、応募資格
高校卒程度の学力を有するもので、昭和二十九年四月二日以降生れのもの
三、応募締切日
昭和五十四年四月三十日
四、採用予定
昭和五十四年六月
五、願書提出
願書（役場受付に用意）に次の書類を添付し、応募締切日まで総務課へ提出のこと。
(ア)履歴書
(イ)成績証明書（最終学校）
(ウ)健康診断書
六、採用試験
(ア)日時　昭和五十四年五月二十日　午前八時三十分受付
(イ)場所　横越村公民館
(ウ)試験科目
一般教養、作文、面接
(エ)携行品　筆記具、弁当

トップ写真説明

熊倉さんの五葉松

村内でも名木の「五葉松」村内の各種の行事に飾られ、いつもさぞかと輝く。この松は、故熊倉末太郎さんが何十年もかかって育てたもの。

熊倉信雄さんの話―父が小さいのを、（買ったのか、人からもらったのかわからない）育てたもの、いまから七〇～八〇年位たっていると思われる。父が死んでから七年になるが、木は変っていない。毎年春植えかえをするのが大変。

父のかたみなので、いつまでも大切にしたい。